

## 第4章 令和5年度の重点取り組み

この章では、第4次計画に掲げる「みんなで目指す2030年のまちの姿」の実現に向けた4つの重点取り組みについて、令和5年度に実施した内容を紹介しています。

※構成については第4次計画に基づき記載しています。

### 重点取り組み 1

## SDGsの多面的な考え方の浸透と、主体的に行動する人や事業者のネットワークの拡大

環境課題の解決のため、これまで培ったパートナーシップのさらなる展開をすすめていきます。

持続可能なまちを支える次世代人材育成の推進

SDGsの達成に向けたネットワークの拡大

分野を超えた学び合いの推進

### \*ジロング市（オーストラリア）との湿地提携に基づく人的交流事業\*

毎年、渡り鳥は繁殖地と越冬地の間を移動しています。渡り鳥のルートでつながる提携湿地の保全・活用など環境保全の取組を学び、交流することを通じて、環境保全に対する理解を深めるとともに、自ら環境保全活動に取り組むことができる人材を育成するため、オーストラリア・ジロング市との湿地提携に基づく人的交流事業を実施しています。

令和5年度は18人の中学生が藤前干潟において事前学習会を行ったのち、ジロング市を訪れ、市長の前で名古屋市や藤前干潟について英語で発表を行いました。また、干潟での体験や野鳥観察、地元の小学生との交流を通して、ジロング市の環境保全の取組を学びました。

令和6年度は、その経験を活かし、環境デーなどやでのステージ発表など、広く市民の皆様へジロング市や藤前干潟について知っていただく活動を予定しています。



ジロング市役所での発表の様子



ジロング市の子どもたちとの干潟体験の様子

## 重点取り組み 2

# 環境にもやさしく災害にも強い、 快適で安心な暮らしの実現

国のカーボンニュートラルの動きにも対応した取り組みをすすめていきます。

## 名古屋版 RE100（仮称）による再生可能エネルギーの普及

### 水素エネルギーの利活用の推進

### 環境負荷の低減と防災・減災の同時実現

#### \*水素エネルギーの利活用の推進\*

水素は、水をはじめ様々な物質から製造し、貯蔵・輸送することが可能で、利用時に CO<sub>2</sub> を排出しないことから、カーボンニュートラル実現の鍵として期待されており、今後は発電・産業・民生・運輸などの幅広い分野での活用が見込まれています。

本市では水素エネルギーの利活用の推進に取り組んでおり、令和5年度は、市バスにおける燃料電池バスの試行運行を開始したほか、なごや観光ルートバス「メーグル」へ燃料電池バスを、ポッカレモン消防音楽隊（名古屋市消防音楽隊）車両へ燃料電池マイクロバスをそれぞれ導入しました。

令和5年度末時点で、本市の保有する燃料電池自動車は、乗用車 20 台、燃料電池バス 3 台の計 23 台となっています。

燃料電池自動車の導入を推進し、水素の需要創出や走行時の二酸化炭素の排出削減につなげるとともに、災害等による停電時には、水素から発電した電気を外部に供給する機能により、燃料電池自動車を非常用電源として活用することを想定しています。

今後も燃料電池自動車の導入推進をはじめとした水素エネルギーの利活用を推進する取り組みを行ってまいります。



市バスに試行導入した燃料電池バス



なごや観光ルートバス「メーグル」に導入した燃料電池バス



ポッカレモン消防音楽隊に導入した燃料電池マイクロバス

重点取り組み  
3

## 自然や水を活かした、 人と生きものにやさしいまちづくり

COP10が開催された都市にふさわしい、自然が身近に感じられ、潤いのあるまちづくりをすすめていきます。

### 都心における自然の活用

### 良好な水辺環境の形成

#### \*新堀川における地下水の利用の取り組み\*

健全な水循環の回復を目指して策定した「水の環復活 2050 なごや戦略」に基づき、地下水を利用したまちづくりを進めており、悪臭の改善が課題となっている新堀川において、地下水の利用により、水環境の改善に取り組んでいます。

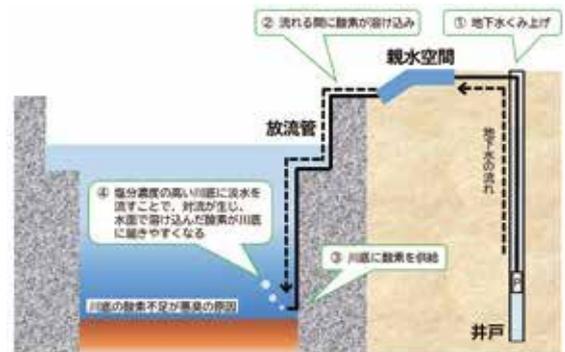
新堀川では、堆積したヘドロの浚渫や合流式下水道の改善などを行ってきましたが、さらなる対策が求められています。

令和2年度及び令和5年度には、新堀川のさらなる環境改善に向け、有識者に意見を伺いながら、関係局が連携し、今後の浄化施策の方向性を取りまとめました。

このうち、環境局では、悪臭の原因となっている川底の酸素不足を改善するため、地下水を川底から放流する井戸等の整備を進めており、令和5年度には、舞鶴橋上流左岸において井戸等を設置するとともに、他3地点において井戸を設置するために必要な地質調査を行いました。



新堀川上流部



新堀川における地下水利用のイメージ

# 重点取り組み 4

## 環境と経済の好循環を生み出す仕組みづくり

積極的に環境対策を行うことで、経済成長や地域の活性化につながる取り組みをすすめていきます。

### グリーン・リカバリーの推進

### 民間活力を活用した環境課題の解決と環境経済の活性化

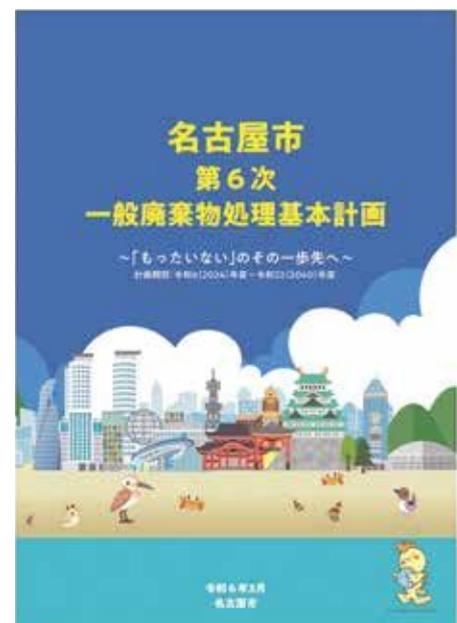
### 持続可能な資源循環の推進

#### \*名古屋市第6次一般廃棄物処理基本計画\*

社会経済情勢の変化等を踏まえ、「プラスチック資源循環の推進」と「食品ロスの削減」を重点施策として掲げる「第6次一般廃棄物処理基本計画」を令和6年3月に策定しました。

令和5年度は、「プラスチック資源循環の推進」に向けて、使い捨てプラスチック削減につながる仕組みを市民が実践・体験することができるモデル事業を事業者と連携して実施したほか、令和6年4月から始まった「プラスチック資源の一括収集」に向けた広報等を実施しました。「食品ロスの削減」に向けては、食材の使いきり、消費期限と賞味期限の正しい理解等の周知活動のほか、フードドライブの実施、食べ残しゼロ協力店と連携したスタンプラリー等を行いました。

今後も、資源を効率よく循環させることで、将来世代にわたって安心して住み続けられる持続可能な循環型都市の実現を目指していきます。



名古屋市第6次一般廃棄物処理基本計画



使い捨てプラスチック削減のモデル事業の様子



庁内フードドライブの様子